



# 株式会社farmo会社案内

---

2024年2月20日

# 会社概要



2015年にIoTを活用し、農業分野に参入したスタートアップ企業

2005年～

アプリ開発事業

2015年～

スマート農業事業

社名 : 株式会社farmo (ファーモ)  
本社 : 栃木県宇都宮市上欠町866-1  
拠点 : 下荒針町、鹿沼市北半田、千渡、久我小学校  
花巻市、奈良市、熊本市  
代表 : 永井洋志  
設立 : 2005年11月  
資本金 : 1億円 (資本準備金 : 2億4460万円)  
従業員 : 29名 (内、パート4名)

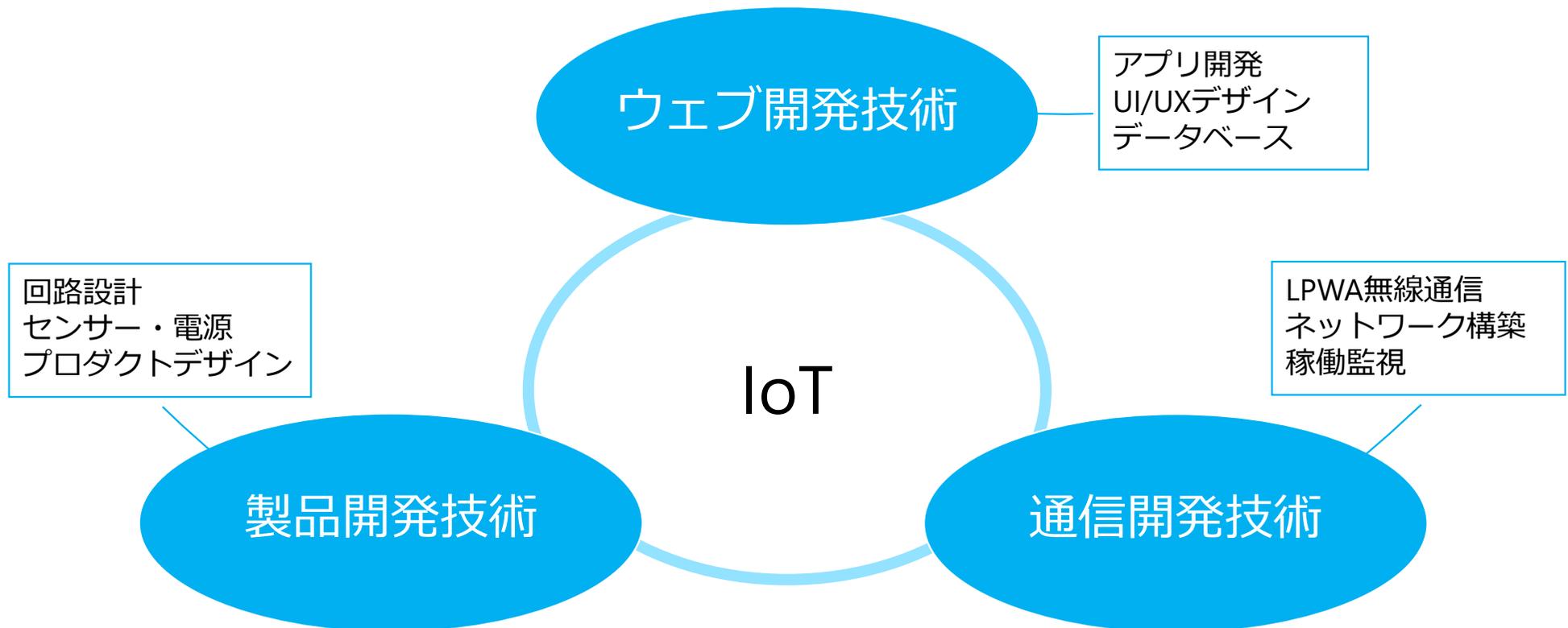


## 農業と地域のスマートな未来環境をつくる

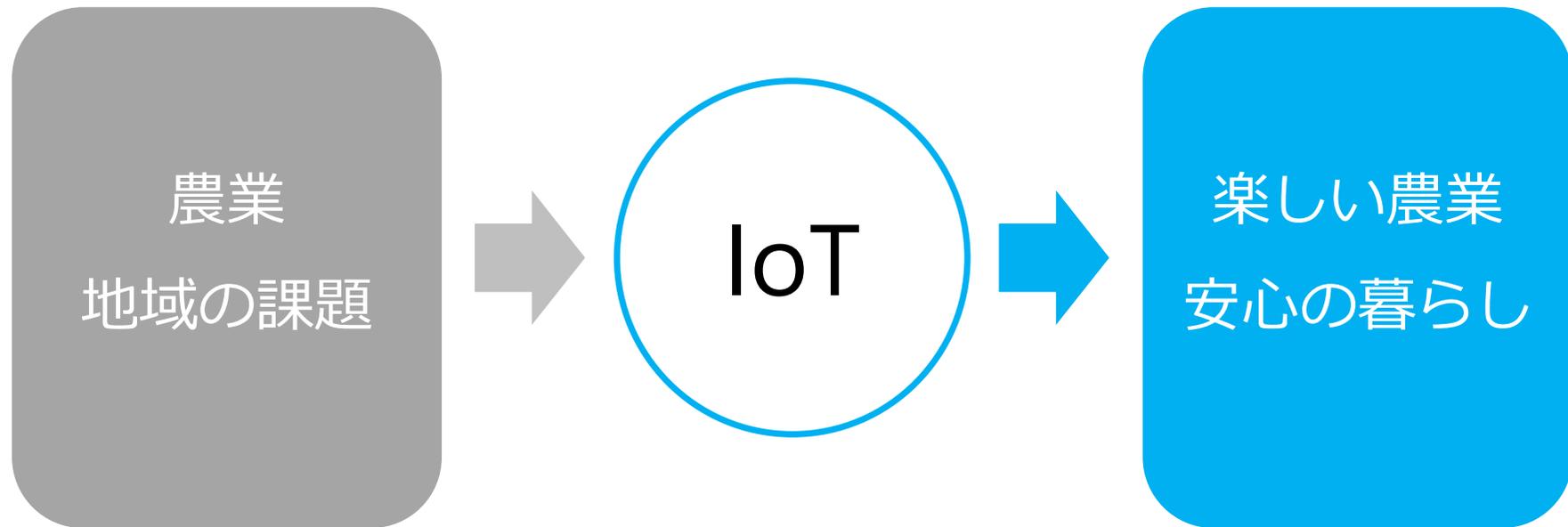
---

農業や自然を相手とした地域環境には、未解決の課題が山ほどあります。  
私たちはこの課題に向き合い、IoTの技術を駆使して解決していくとともに  
地域が持続して課題を解決し発展していける、スマートな未来環境をつくります。

## 回路設計からアプリ開発まで、ワンストップの開発技術



IoTで農業や地域の課題を解決！



# スマホで水管理ができる

水位が分かる



給水できる



# いつでもどこでも 水位が分かる

## 水位センサー

超音波で水位を測定

太陽光発電

簡単設置

水温付もあり

ランニング費用なし

特許取得済み

価格：19,800円（税込）

遠くの水田、代掻き時にも便利



# 田んぼに行かずに 給水できる

## 給水ゲート

開水路で使用

設置が簡単

水位センサーと連動できる

草が詰まりにくい

ランニング費用なし

特許取得済み

価格：66,000円（税込）

2日に1回の見回り→1か月に1回！



# パイプラインにも対応

## 給水バルブ

各種バルブに対応

設置が簡単

水位センサーと連動

水量調整も自由に設定

ランニング費用なし

特許取得済み

価格：66,000円（税込）

後付けOK、各種バルブに対応



## ハウスの中が、よくわかる

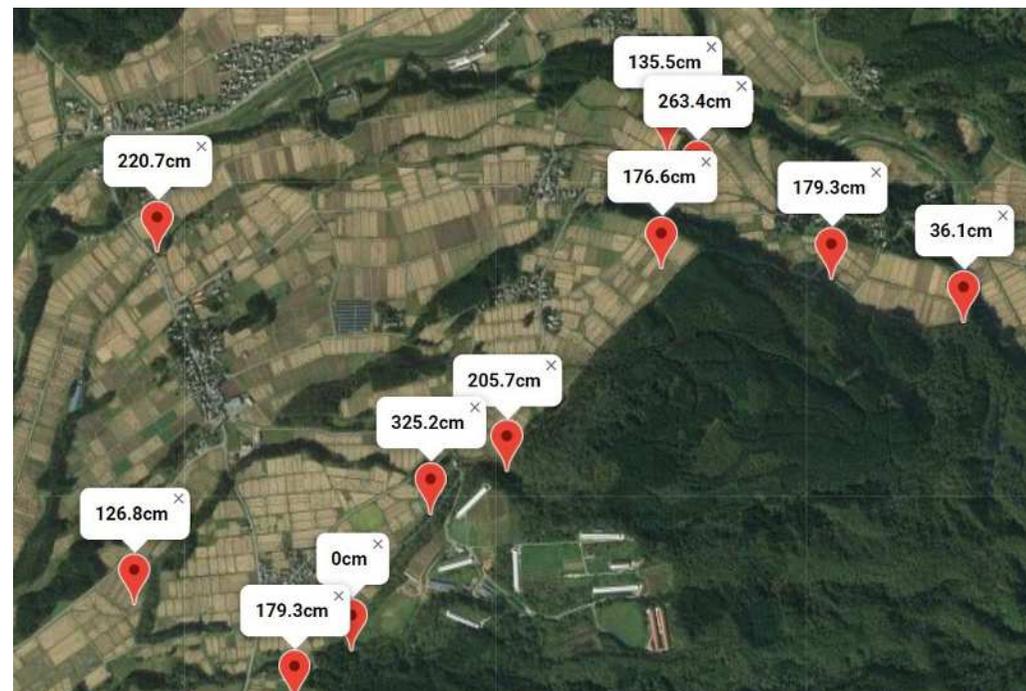


farmoで測れる  
9つのデータ

- 気温
- 生長点温度
- 地中温度
- 炭酸ガス濃度
- 湿度
- 日射量・照度
- 飽差
- 土壌水分
- EC値

生産性が向上し、品質・収量がアップ

## 水路やため池、河川の水位を遠隔監視



## 地点の気象データを取得・共有して活用



- 果樹の霜害対策
- 稲の刈り取り時期を推定
- 露地栽培の圃場環境を把握

気温

湿度

照度

風速

風向

降雨量

気圧

## 地中の水分、肥料濃度が分かる



- 灌水のタイミングが分かる
- 露地野菜の生育実態の解明
- 施肥の適期を推測

気温

照度

土壌水分

地中温度

EC値

# フィールド・ショット



farmo

フィールドショット **新登場!**

## FIELD SHOT

写せ!大地のど真ん中

設置するだけの  
遠隔カメラ

スマホで  
遠隔撮影

**畑の確認に**  
離れた畑の生育状態や  
天候による影響も手元で確認!

**河川の確認に**  
多地点で監視をしていきたい!  
そんな時でも安心監視。

**現場の確認に**  
工事現場の進捗確認など  
場所にとらわれず、手軽に撮影!

## 設置するだけの 遠隔撮影カメラ

- 電源、ネット環境不要
- スマホから遠隔撮影
- 月額無料

特許出願中

価格：79,200円（税込）

電源不要

ネット不要

GPS対応

## 昨今、水路の管理が全国の農村部で大きな課題となっている

- 管理者の高齢化による行き詰まり
- 開閉作業の危険性、死亡事故
- 気候変動による管理負担、心理的な負担増加

水路の管理は農業存続にかかわる大きな問題！



通信網を活用し、水門の遠隔開閉システムを提供



問題を解決！





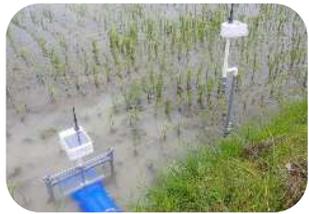
様々な水門に取り付けて利用できます。



# さまざまな分野に展開



現場のニーズにマッチした商品を次々とリリース



水田



気象



水路・ため池



露地栽培



施設園芸

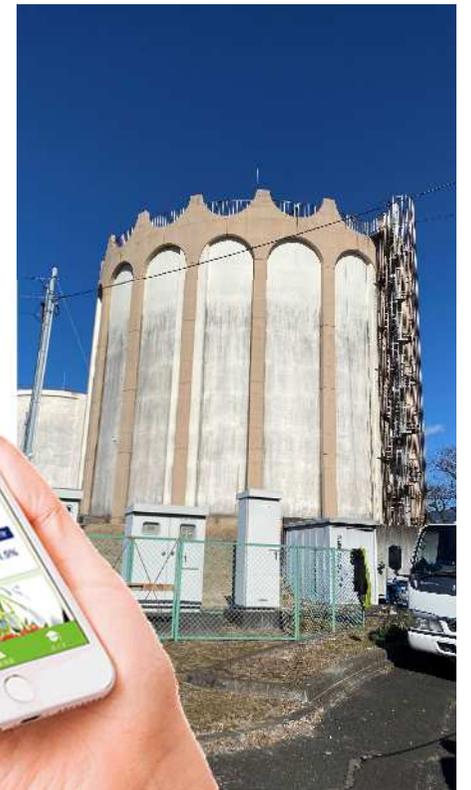


排水



養殖・水産

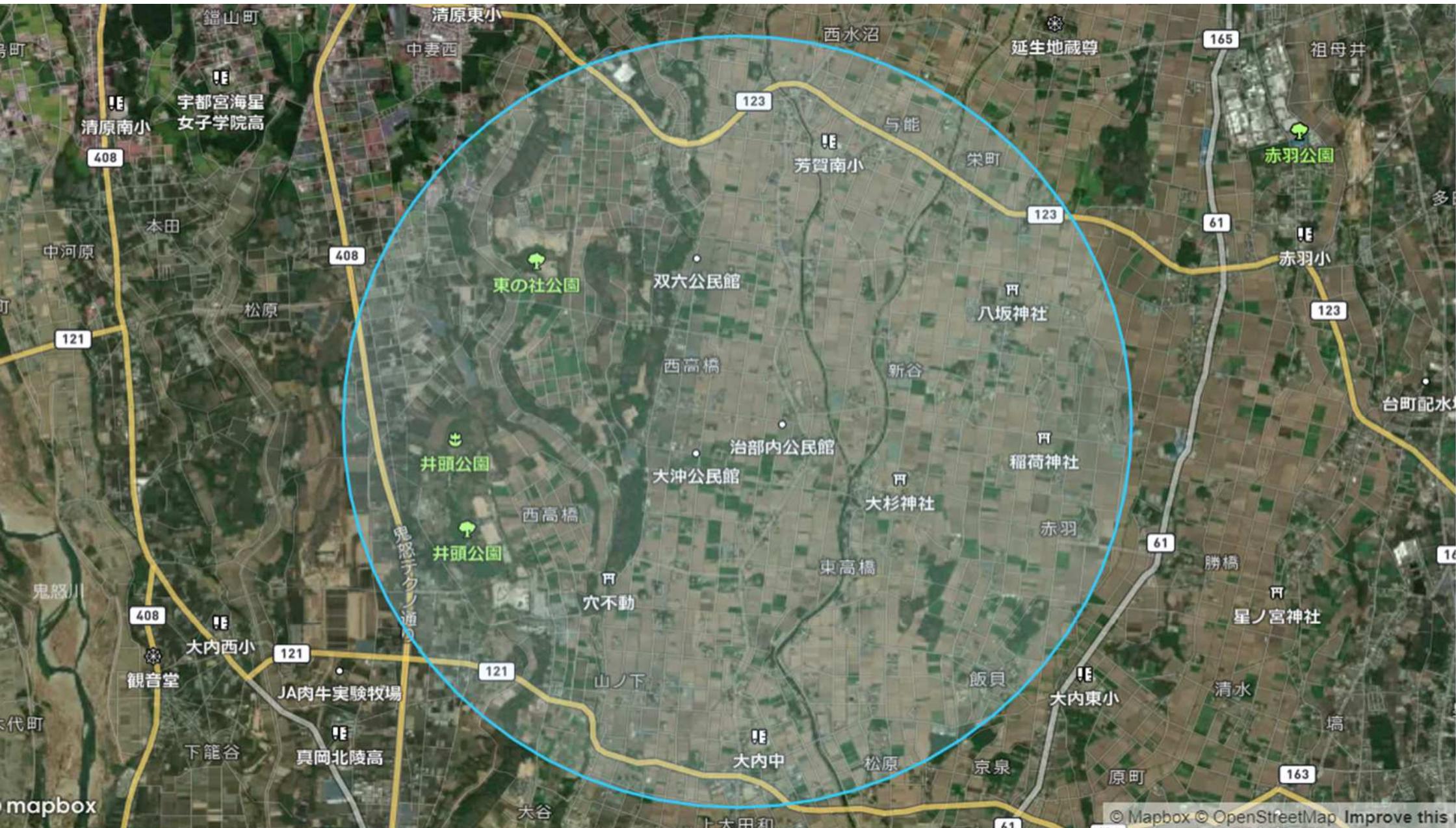
公共設備



# 通信の仕組み

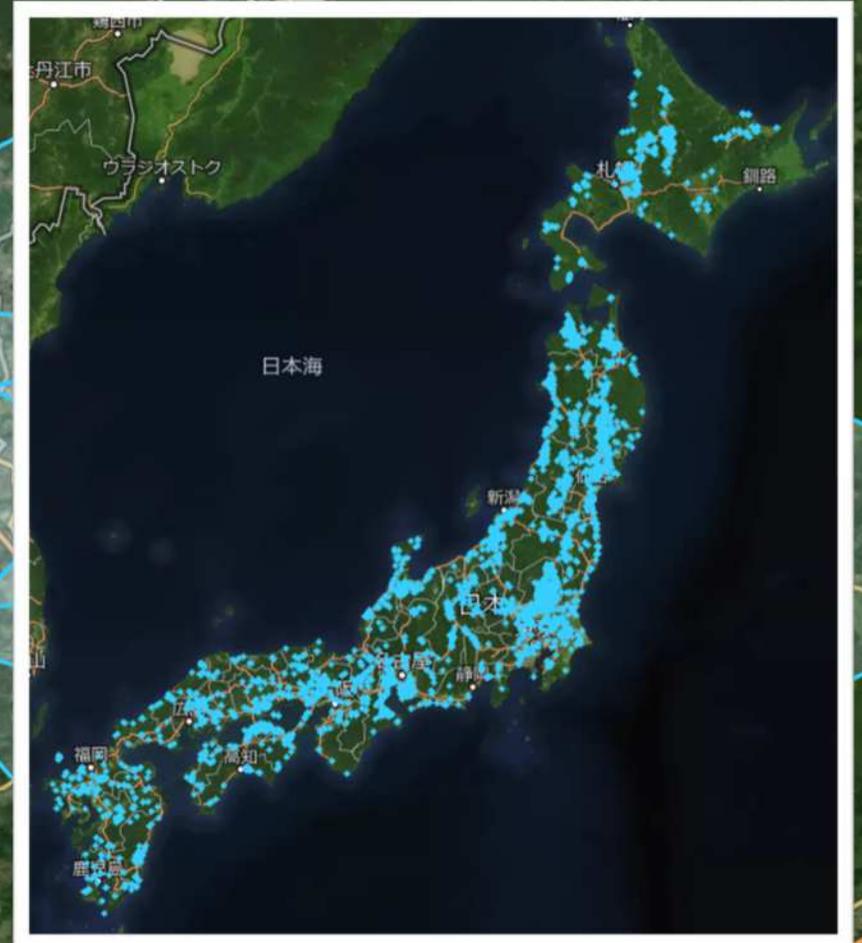
1台の通信機で半径約 3 Kmをカバー





# 全国にIoT通信網を整備

岩手県花巻市



# 農家や自治体と協力して、基地局を設置



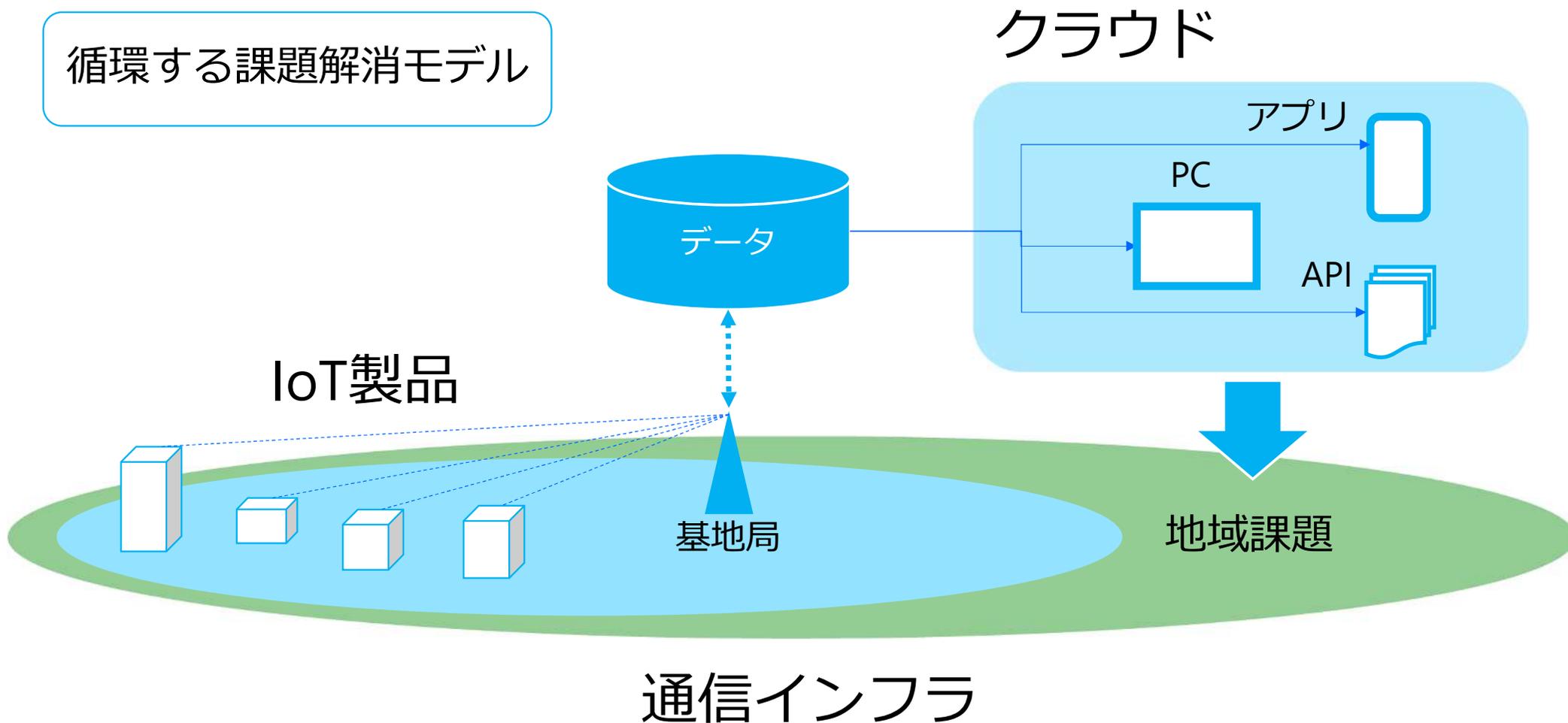
組み立て式



# ファーモのICTシステム

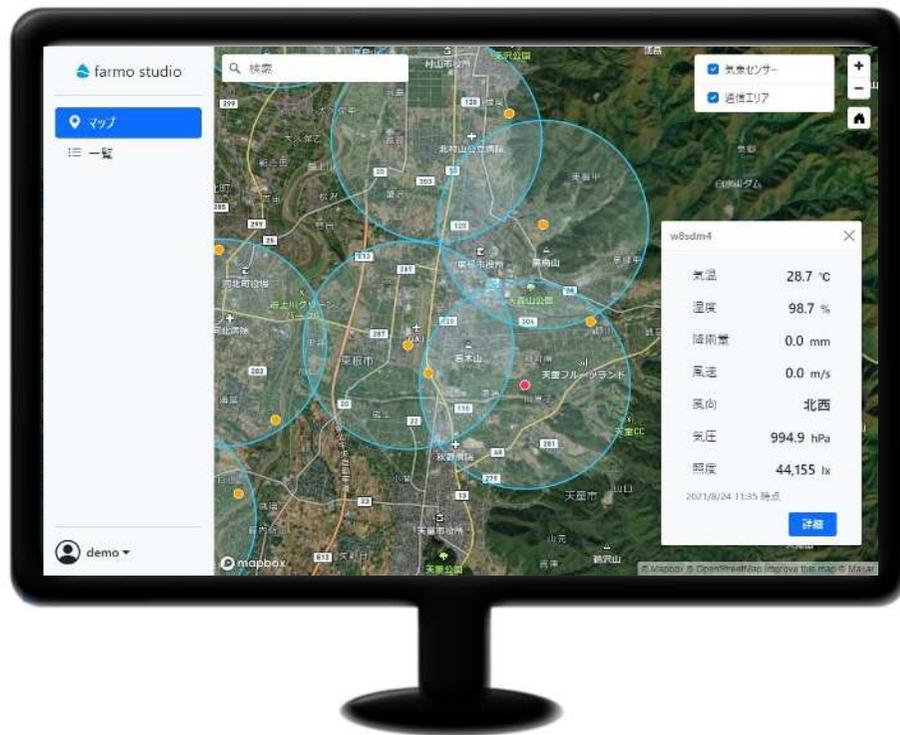


循環する課題解消モデル



## Live Data Station

低コストで地域のライブデータ基盤を構築



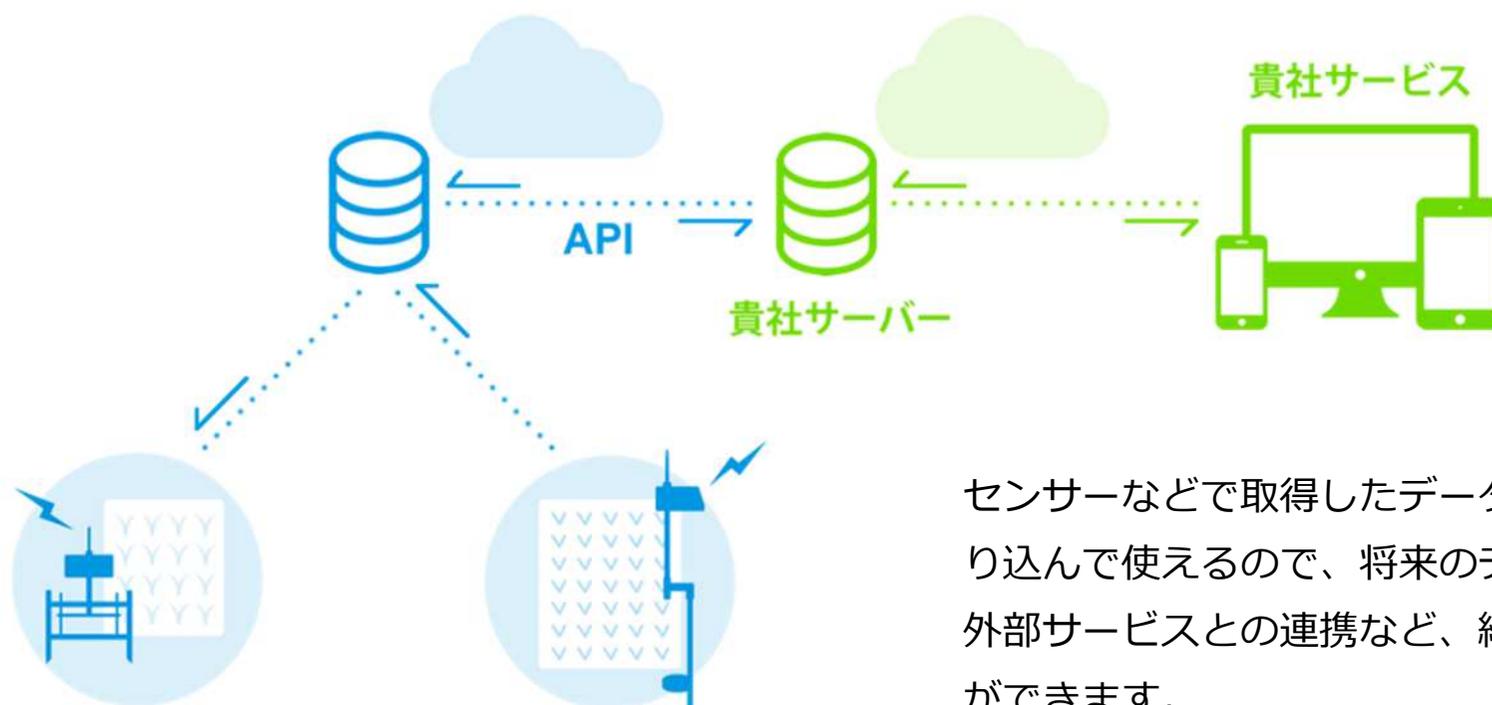
写真

水位データ

気象データ

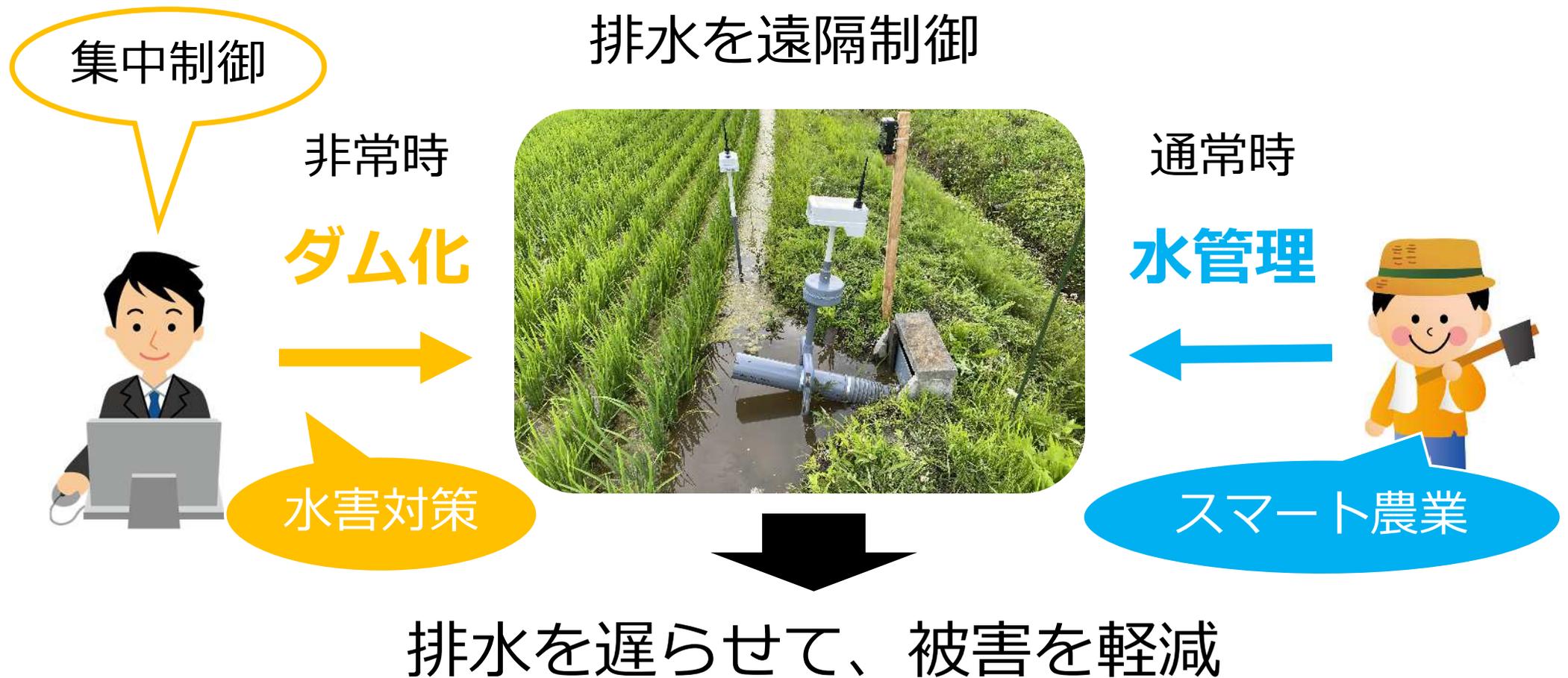
Etc...

## 取得したデータを外部サーバーで連携活用



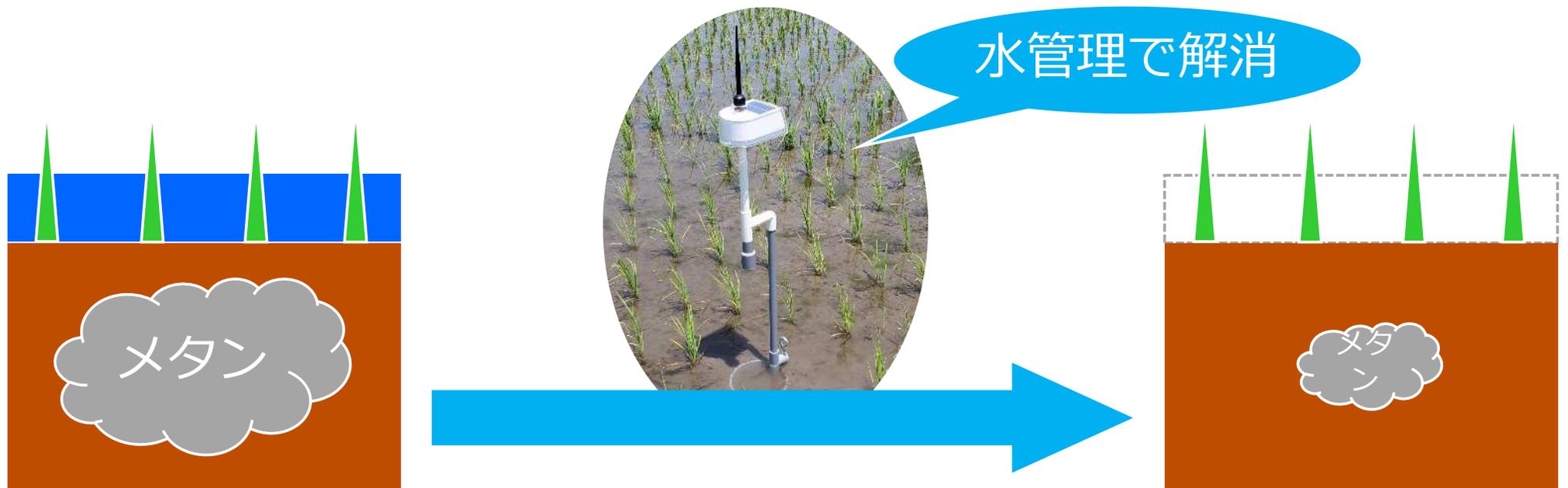
センサーなどで取得したデータは別のサーバーへ取り込んで使えるので、将来のデータ連携基盤構築や、外部サービスとの連携など、継続して利用することができます。

# 流域治水に期待される、スマート田んぼダム



# 水田の水管理で、メタンガスの発生を抑止

地球上の約1%が水田から発生



間断灌漑の期間を長くし、発生を抑止

# 通信インフラ整備で様々な課題解決に活用



# 農業と地域の スマートな未来環境をつくります。

